

平成23年度 国府中の教育はこのように進めます



教育目標は



「気づき・考え・実行する生徒の育成」

教育方針は



- 人権尊重の精神を培う
- 高い知性と豊かな情操を培う
- 自主性・創造性を培う
- 積極的な実践力を培う

研究主題は



**自ら学び 心豊かで たくましく生きる
実践力のある生徒の育成**

～学び合い 認め合い
高め合える場づくり・集団づくりを通して～

主な学校内外の年間行事

1 学 期	4月	入学式、確認テスト、市中学校体育大会
	5月	写生会、修学旅行・遠足、中間テスト
	6月	加賀地区大会兼県大会予選 2年職場体験、期末テスト
2 学 期	7月	個人懇談、県大会
	夏休み	1年ふれあい体験学習、確認テスト
	9月	運動会、市新人体育大会
3 学 期	10月	中間テスト、合唱コンクール
	11月	文化祭（勸進帳上演） 中学校古典教室（勸進帳上演）
	12月	期末テスト、人権週間、個人懇談
3 学 期	1月	書初め大会、確認テスト、 1年スキー教室
	2月	2年立志式、3年学年末テスト 3年三者懇談
	3月	1・2年学年末テスト、卒業式

◆確かな学力を身につけるために

1 基礎的・基本的な知識・技能の習得を図り、課題解決のために必要な思考力・判断力・表現力の育成に努めます。

- ☆学ぶ意欲を喚起し、わかる授業・楽しい授業を工夫します。
- ☆英語科・数学科で、TT・少人数授業を実施します。
- ☆授業の規律を重んじ、「学びのルール」を徹底します。
- ☆各教科において積極的に言語活動を取り入れ、「学力向上プラン」の推進を図ります。
- ☆家庭学習の習慣化と内容の充実化を図ります。

2 授業改善や指導力向上のための研鑽に努める教師集団を目指します。

- ☆「いしかわ学びの指針12ヶ条」を基に、子どもたちの学力向上に努めます。
- ☆研究授業や校内研修会等を通して、指導力や資質の向上に努めます。
- ☆新学習指導要領の考え方を共通理解し、移行期の実践に取り組めます。

3 「学び合いのできる学級づくり」に尽力します。

- ☆仲間を大切に、互いに高め合える学級づくりを目指します。
- ☆人との違いを認めながら、互いのつながりを大切にする豊かな人間関係の醸成とリーダーの育成に努めます。

◆生きる力を育むために

1 教科等で培った力を生かし、総合的な学習の時間の充実に努めます。

- ☆課題を発見する力、探求する力、表現する力、人と触れ合う力、生活に生かす力の育成を目指します。
- ☆様々な体験活動を通して、自分自身の生き方を考え、発達段階に応じた学年としての系統性を持たせて進めます。

2 キャリア教育の推進に努めます。

- ☆職場訪問や「わくワーク体験」「働く人に学ぶ会」「卒業生と語る会」等を通して、働くことの意義や自己の適性、進路について考える機会を設定します。

3 基本的な生活習慣の確立に努めます。

- ☆毎日の健康観察、生活設計ノート、アンケート等を通して実態把握に努めて指導していきます。
- ☆「体力アップ1校1プラン」を実践し、運動の楽しさが味わえるように努めます。

4 きめ細かな生徒理解・生徒支援の推進に努めます。

- ☆積極的な教育相談活動に努め、きめ細かな対応と関係機関との連携やスクールカウンセラーの活用に心がけ、生徒理解・支援に努めます。
- ☆生徒のよい所を保護者と学校が共有しあい、学校生活が安定するための指導に生かします。

◆人権を尊重し、思いやりの心や豊かな情操を育むために

- ☆特別支援教育・赤十字活動を基盤とした人権教育を推進しながら、人に優しい生き方を学ぶ生徒の育成を図ります。
- ☆道徳教育の充実に努め、感性を伸ばし思いやりのある生徒の育成を心がけます。
- ☆全校一斉の朝読書の取り組みを始めとした読書活動の推進を通して、豊かな人間性を育むよう努めます。

◆自主性・創造性・積極性を培うために

- ☆生徒会や実行委員会を中心とした生徒自身の手による活動を積極的に推進します。
- ☆青少年赤十字に基づくボランティア活動を推進します。

◆地域と共に歩む学校づくりを目指して

- ☆情報公開に努め、開かれた学校づくりを目指します。
- ☆家庭・地域から信頼される学校づくりを目指します。
- ☆地域の教育力や学校関係者評価を教育活動の改善に活かし、学校評価結果を公表します。
- ☆国府小学校との連携を深め、指導の系統性を図ります。